## 2024年度 特定非営利活動に係る事業報告書
## １ 事業の成果

◆里山保全部門

＊管理場所グループ

毎月第一、第三日曜日午前中に定例活動を行い、以下のように里山とその周辺の保全に努めました。

・根戸城址　子供部門が主になって城址の管理を行いました。農教室カリキュラムとして落葉の　　堆肥化。落下した枯れ枝を拾い集積。集積した枝を結束し市の回収へ出しました。
一部の枝を薪としてそば祭りや餅つき大会の際に活用しました。遊具の管理、倒木の処理、竹の切り倒し枝払い等。会場内管理は、落ち葉の掃除、道具、機器の管理、屋根掃除、薪置場整理、日暮家生垣剪定等。

・ミカン山　カイガラムシの防除。剪定。除草。堆肥作り。施肥。全体の除草。防鳥ネット取付けと取り外し。倒木処理。栗拾い。収穫したミカンはおみやげ、販売等で活用しました。今年は、初めてビワを収穫して会員に配ることが出来ました。南斜面の枯れてしまった松の木を伐採しました。

・ハス田　畦と水中の除草。施肥。切り花募金。農教室カリキュラムとして枯れ茎の刈り取り除去をいたしました。

・田んぼ　手取り雑草除去。ロータリー掛け。畦の除草。水の管理。ポンプの管理。

・その他　第２駐車場の草刈り・整備。トンネル下の管理。水神様周辺の下草刈り、浅野第３圃場での小麦施肥・麦踏み、船戸・花和下圃場での菜の花施肥・ハクサイダニ除去菜の花移植等を行いました。

＊個別活動グループ

１．里山農教室部会

・ソバ祭り・餅つき大会は会員のみの参加としました。

・気候変動(大雨、猛暑、日照り)の影響が大きく、作物の生育にかなり影響が出たと感じました。

排水対策・日照り対策・熱中症対策が課題かと思いました。

・日直リーダー制・３年次生以上（スタッフ）の作物担当制が機能していたものの、各作物担当がかなりがんばってくれていて一部の人には負担が大きくなりすぎているように

感じました。

チームにより参加者数に偏りがあり当日作業の割当人員選出に毎回苦労しており、毎回同じ人が同じ作業に割り当てられてしまう状況が発生していました。

１年次生の出席状況・次年度継続状況が極端に悪く、改善が必要であると感じました。
・ユーティリティチームがフルに機能しました。
・冬越しのタマネギ・ニンニクの栽培も作物担当制がうまく機能し、定着してきました。
・定時までにほとんどの作業を終えることができました。
・里山農教室の開講は平均月３回、年間３０回でした。
・受講者は年度当初で大人部会１１９名、子ども部会２９家族でした。

## ２．農教室特別コース

・2024 年度は、新会員 4 名を迎えて 14 名で、特別コースを運営しました。
・各自の圃場で、栽培計画にもとづく有機栽培を実践し、結果を栽培報告書にまとめました。　また、課題作物として里芋（土垂）を栽培しました。
・’22 年より開始した協働圃場では、5 年間の輪作計画に基づき、里芋（石川早生、海老芋）→そら豆・いんげん→なす・トマト→にんにく・玉ねぎ→かぼちゃ・きゅうり・ゴーヤ→大根→じゃがいも→秋野菜を栽培し、一部の良品をえびすで販売しました。　初めて挑戦したトマトは、青枯れ病で全滅でしたが、総じて良作でした。　トマトなど病気に弱い作物は、太陽光などによる土壌殺菌が必要です。
・’22 年より開始した浅野第五圃場では、大豆に加え、各自が様々な作物を持ち寄り白ねぎ、ピーマン、唐辛子、小松菜など多種作物を栽培しました。２年間の作物栽培で土の状態が改善され、一定の収量をあげることができました。
・新たに、’24 年より開始した浅野第六圃場では、じゃがいも→大豆、里芋、ヤーコンの中規模の有機栽培を行いました。　土が肥えていて、じゃがいもは豊作でしたが、その後の大豆は実の付きが良くない結果となりました。大豆の出来は浅野第六圃場の方がよさそうです。
・’22 年に開始した菌ちゃん畝での栽培は協働圃場の拡大に伴い実施できませんでした。
・年４回の定例会に加え、農教室の前後で適宜協働作業を実施し、栽培した作物を用いて、芋煮会（山形風、福島風の２回）およびみそ作りを行いました。
・6 月のバス見学会は「”暮らしの実験室”やさと農場」を訪問し、有畜複合農法を学びました。
・’22 年より開始した浅野第五圃場では、大豆に加え、各自が様々な作物を持ち寄り白ねぎ、ピーマン、唐辛子、小松菜など多種作物を栽培しました。　２年間の作物栽培で土の状態が改善され、一定の収量をあげることができました。

・11 月そば祭りの「里芋品評会」では、優勝：松元さん、準優勝：宮平さん、佐郷谷さん、熊田さん　でした。

## ３．ハーブ部会

３月 9 日（土）　圃場整備
４月 13 日（土）　圃場整備・定植・播種
５月 11 日（土）　苗定植
６月 8 日（土）　ラベンダー収穫・ラベンダースティック作り
７月 13 日（土）　圃場管理・ラベンダースティック販売
８月 10 日（土）　染色（玉ねぎ皮・乾燥藍・レモングラス）
９月 14 日（土）　圃場管理
10 月 12 日（土）　ローゼル収穫
11 月 9 日（土）　フルーツポマンダー作り
12 月 7 日（土）　レモングラスリース・しめ縄飾り作り
12 月 14 日（土）しめ縄飾り販売（餅つきにて）
1 月 11 日（土）　ハーブクッキング（アビスタ調理室）
2 月 15 日（土）　ハーブクリーム作り（けやきプラザ調理室）

毎月１回の作業日（第 2 土曜日　13：00～）には、10 人前後のメンバーが集まり作業しました。
藍の乾燥葉を使っての染色は色が鮮やかに変わるところが楽しかったです。レモングラスのしめ縄も、上手に形作りできるようになりました。

## ４．養蜂部会

・定例会は 11 回、チームリーダー会は 10 回開催し、日本ミツバチ飼育の基本技術の習得に努めました。定例会は第 3 土曜日（午後１時～３時）、チームリーダー会は第１土曜日（農教室終了後）を基本に開催しました。
・チームリーダーとチームを中心とした運営体制により、全員参加の活動に努めました。
・「みかん山」に初めて待ち箱を置き、キンリョウヘンを使ってミツバチの自然入巣を期待しました　が、成果はありませんでした。
・会員に対し、ハチミツとみつろうハンドクリームを販売しました。
・部員に対し、ハチミツとみつろうハンドクリームを現物支給しました。
・チーム構成員は　３２名で、ミツバチ越冬群は４群でした。（2025 年 3 月現在）

## ５．そば勉強会部会

・　４月から３月まで毎月１回、開催をして延べ１６８名が参加しました。
　毎回、そばを打ち担当、料理担当、会計担当、買い物・会場設営担当などに分かれて行動して、全てが終了したらテーブルを囲んで、そばの試食と料理で楽しく会食をしました。

**６.健康長寿部会**

**＜活動内容・反省点＞**

・健康長寿部会は、野菜ソムリエの原さんを中心に、２０２２年に立ち上げられた部会です。
　健康に良いとされる作物の栽培、効能の紹介とレシピの考案。そして、上手に栽培出来るよう試行錯誤を重ね、ゆくゆくは、農教室の皆さんにも食べて頂ける様にすることを目標にしています。
・抗酸化作用のある「青パパイヤ」をあきらめて、ビーツ（食べる輸血といわれるほど栄養価の高い野菜）を育て始めました。（他にも、ケツメイシ(目に良いお茶)や黒豆(高血圧・動脈硬化予防)も）
・まだ小さな畑で多くは栽培出来ませんが、春栽培のビーツは、上手に育ってくれました。
　部会メンバーの方が、その食べ方を考案して、農教室の方に紹介してくれたので、味見をして下さった方もいらっしゃったと思います。（農教室終了後）
・ところが、本来、冷涼な気候を好み、（生育適温は 15～20℃）秋から栽培するほうが栽培しやすいと
　言われていた（テレビで）ビーツですが、秋に播種したビーツは、寒さにやられてしまったのか、全滅してしまいました。

**◆遊休農地活用部門**

**＊遊休農地対応グループ**

**１．船戸圃場**

１）ひまわり栽培（４月～８月）
　・今まで使用していたひまわり種子が販売終了となり、今年は在庫品での対応となりました。
　　合わせて新しい見本の種子の提供を受け、２品種を栽培する事となりました。
　・５月５日、現行品種と新品種の違いを確認するために、新品種は道路側から８畝、現行品種はその隣から２１畝播種をしました。
　・今年は鳥による種子の被害が少なくて、ホッとしました。
　・２品種の生育状況はほぼ同じで、開花時期もほぼ一緒、花の大きさもほぼ同じでした。

・新品種の草丈は、現行品種より２０～３０㎝程度低く、満開後種子が成熟すると、花が大きく下を向いてしまいました。
・新品種は「イベント」には不向きな「ひまわり」で、種採り用には適した品種と判断しました。
・今までの「ひまわり迷路とクイズに挑戦」イベントに替わるイベントを、テスト的に２日間（土・日）に行いましたが、準備不足と猛暑で来場者は２日間で４５名でした。

２）ひまわり油

・ひまわり種子取作業は８月９・１０日の２日間で終了しました。
・今年は害虫の「アワダチソウグンバイ」被害が少なくて、１２６kg の種子が採れて、１２月に搾油依頼を行い、１月にひまわり油（100cc 瓶）を４２１本受け取る事が出しました。
・油本数は２０２２年が１２７本、２０２３年が２７４本で、直近の３年間で一番良い結果となりました。

３）菜の花栽培（１０月～３月）

・菜の花栽培はひまわり栽培と同様に、２０１４年度から始めて、今年は１１年目です。
・１０月２７日に播種を行い１１月５日に出芽を確認しました。
・「花芽の摘み取り」は１月１９日と２月６日の２回の実施で５３名が参加しました。
・２回目の花の摘み取りの時に、病気のような株を見つけました。
・原因が分からなかったので、「千葉県東葛農業事務所」に調査依頼を行いその結果、「ハクサイダニ」と判明しました。
・同ダニによる被害が大きい株の除去等の対応に延べ７日間で、７１名が汗を流しました。

その後殺虫剤を３回散布しました。

４）菜の花イベント「菜の花畑散策と頭の体操」を開催

・イベントは３月１３日（木）～１６日（日）の４日間開催の予定でしたが、最終日の１６日が雨天のため順延となり、翌日の１７日（月）が最終日となりました。
・今年は「ハクサイダニ」被害により欠株箇所が多くて、１１年間で一番寂しい花畑でした。
・欠株となった場所に、浅野第二圃場から菜の花株を移植し、あわせて菜の花小路両脇に、畝間誤侵入防止柵を設置しました。それにより、移植した小さい株と防止柵の風景が「花壇」のようで、今までには無い風景となりました。
・入場者数は４日間で４２１名、今までで一番少ない人数でした。少ない原因は「日曜日」が雨天で開催出来なかったからと思われます。過去の日・祭日の入場者数の平均

は３２２名でした。今年は順延日の月曜日の入場者数は「５７名」で、もし、計画の日曜日が開催出来たと想定すると、
２００名以上は、入場者数が多くなったのではないかと思われます。
・今回も入場者から、いろいろな声を頂きました。

## ２．花和下圃場

・当圃場は、道路脇（東圃場）２００㎡と西側の圃場（西圃場）４５０㎡の２か所で、景観作物としてヒマワリと菜の花を栽培しました。肥料として馬糞堆肥及び発酵鶏糞の散布を行いました。

１）ヒマワリ栽培（５月～８月）

・東圃場は管理機による耕耘をし、西圃場はトラクターによるロータリー耕耘を行いました。西圃場は雨水対策のため、管理機による高畝としました。
・播種後、西圃場は、発芽が悪く欠株箇所に船戸圃場からの間引き株を移植し、東圃場も欠株箇所には間引き株を移植しました。
・東圃場は、成長が良く大きな花が咲いたが、昨年と同じように「アワダチウグンバイ」が発生し葉が黒くなった。しかし、ヒマワリ油が搾れる程で良好でした。
・西圃場は、成長が悪く小さい花が咲きましたたがヒマワリ油を搾れるような状況ではありませんでした。

２）菜の花栽培（１０月～３月）

・菜の花栽培は、ヒマワリと同じように管理機及びトラクターによる耕耘を行い、西圃場は高畝としました。
・西圃場は、沼側が低いため、雨水により水溜りが出来、高畝としていたが発芽しなかった為、再播種を行った。西圃場は、全般に葉が黄色くなってきたので１月に化成肥料を追肥しました。
・２月に東、西圃場共、追肥を行ったが、西圃場の雨水が溜まった所は、ほとんど成長しなかった。
・東圃場は順調に育ち、花も多く綺麗に咲きました。西圃場は雨水溜まり以外のか所は成長が悪かったけれど、小さいながらも花が綺麗に咲きました。

そば栽培（８月～１１月）

・浅野第２圃場は面積が１０００㎡で、景観作物としてそば栽培を行いました。肥料として馬糞堆肥及び発酵鶏糞の散布を行いました。
・トラクターによるロータリー耕耘を行いました。
・播種機による播種を行った後、２週間位で倒伏防止の為、管理機による土寄せを行いました。

・刈り取り、脱穀は予定どおりに行えたが、天日干しが天候悪く１週間程を要しました。
・蕎麦の種が余ったので、みかん山下及びふれあい通り圃場に播種をして栽培しました。
・玄そばの収量は、みかん山圃場等を含めて１８０kg程度で、８０kg（製粉量５８，５kgで７３％程）を昨年に製粉にしました。

## ３．浅野圃場

１）ひまわり栽培（５月～８月）
・第 3 と第 5 圃場でひまわりを栽培しました。
・5 月初旬に発酵鶏糞の散布、中旬に播種をし、その後順調に発芽したものの、第 5 圃場は周辺の稲作が始まると水はけが悪くなり、その後の生長が止まってしまい、花を咲かせるほど大きくは育ちませんでした。
・一方、第 3 圃場のひまわりは比較的よく生長しましたが、花は種を採取するほど大きくならず、また花の見ごろのころになると花が皆下向きになってしまいました。

２）菜の花栽培（10 月～3 月）
・第 2、第 4 および第 5 圃場で菜の花を栽培しました。
・第 2 圃場は前作のそばの刈り取りが遅れていたため、第 4 と第 5 圃場を先に肥料散布と耕耘、播種を行いました。
・その後、遅れていた第 2 圃場も 11 月の半ばに播種ができました。第 2 圃場での生長はやはり播種の遅れが響いたのか、水はけの悪い第 5 圃場での生育同様に冬越しするには小さすぎると思われましたが、3 月に入ると順調に生長し、小さいながらも花を咲かせ、黄色い絨毯になりました。
・一方、試験的に播種した第 4 圃場での生育は道行く人の足を止めるほど、胸ほどに生長し、咲き誇っていました。

３）小麦栽培（11 月～6 月）
・第 3 圃場で小麦を栽培しました。
・11 月初旬に播種し、発芽後、12 月から 2 月にかけて 3 回ほど麦踏みをしましました。
・今季は例年の白鳥による食害も無く、順調に育っています。
・3 月の末に 1 回目の追肥、土寄せを行っています。

## ４．宮前沼/宮前田圃

1)田んぼ総面積 10,000m²(10 反)を使って本年も農薬を使わず除草剤のみを使用した減農薬方針で「粒すけ」銘柄の米を栽培し合計 145 袋＝4,350kg を収穫しました。
2)この収量は前年実績と(117 袋)と比べると 24％の増収ですが、一昨年の最高記録(172 袋)と比べる　　と 16％の減収でした。

地主の日暮家に 20 袋、農教室に 6 袋、寄付と分配で 96 袋使用し、農教室会員には 21 袋を販売し
21 万円をトラストの収入とすることが出来ました。

５．遊農チーム（GMT65）

・農機を扱うことのできる人員が増えました。
・登録人数は 60 人超で、たくさんの方が作業に参加してくれました。トラスト会員以外の人も参加してくれています。
・米もヒマワリ油もいつものように現物支給できました。

◆子ども部門

＊子どもグループ

・根戸城址の枯竹の整理、落下した枯れ木を拾い集積し、無煙炭化器で燃やして炭を作りました。
・こども畑、こども田んぼで、米、ジャガイモ、スイカ、ニンジン、ひょうたん、藍、しいたけ、マコモダケ、クワイ、こんにゃく、へちまを育てました。
・収穫したこんにゃくで、こんにゃく作りをしました。
・作物担当を実施し、活動がスムーズにできました。
・イベントは、田植え、かかし作り、稲刈りついて企画・運営を行いました。
・農教室の修了式では、トラスト生き物マップの発表をしました。

＊新規就農者支援グループ

・新規就農希望者があらわれませんでした。

◆事務局部門

＊交流事業グループ

当グループは会員相互、並びに一般市民との交流を図る目的で各種イベントを開催するとともに情報交換・情報の共有化を図る活動を展開しました。
・5 月の田植えには一般の会員(83 名)や子供部会の家族（66 名）、外部参加者(53 名)など、大勢の参加者が集まり総勢 202 名の賑わい(前年比 72 名増)を見せました。
・8 月には農教室生や子供部会、外部参加者の作成したかかしに彩られた「かかし祭り」が行われ、大人部会 64 名、子供部会 26 名、外部参加者 2 名の合計 92 名の参加がありました。
・9 月の稲刈りでは、子どもから大人まで総勢 201 名(大人部会 85 名　子供部会 52 名　外部参加者 64 名)の参加者が集まり、重労働にもかかわらず、素晴らしいチームワークで作業をこなしていました。田植え、稲刈り共に 200 名を超える参加者となりました。

11 月のそば祭りは、今年も午前・午後の 2 部制で行い、子供部会 50 名、大人部会 94 名の合計 144 名の参加がありました。ソバの試食会場を根戸城址としたため、日暮会場も時間通りにそば打ちを進めることができました。今年度から参加費 500 円を改めて徴収することとしました。

・12 月の餅つき大会も、2 部制にして 1 部を子供部会(38 名)、2 部を大人部会(104 名)に分けました。子供部会は昨年に続き、根戸城址にて試食をしました。合計で 142 名の参加者となりました。そば祭り同様、会費として 500 円を徴収しました。

・2 月にはトラストサロンとして、当会の会員である稲葉敏夫さん(早稲田大学名誉教授)に、「統計学の歴史」と題する講演をしてもらいました。20 名の参加者が普段のトラスト活動とは異なる統計学について学びました。

**＊事務局グループ**

・会議運営・記録、会報発行、ＨＰの運営、名簿管理、会計業務（年度予算、月次決算、現金出納業務等)、機械管理等の基礎業務をこなしました。

・10 月から、新たなホームページへの切替えを行いました。新ＨＰ担当者の努力で、ＨＰ、メーリン　　グリストが有効に機能しました。

・ＦＢも担当者が農教室の記録を配信してくれました。

・会計担当者、会計実務者の力で会計実務がスムーズかつ適切に行われました。

・法人クレジットカードを発行し、現金精算業務の効率化に取り組みました。

・6 月に第 2 駐車場に大量の廃棄物が不法投棄される事件が発生しましたが、トラスト会員総出の小　分け作業及び我孫子市との連携によりスムーズに廃棄物を処理することが出来ました。その後、地主さんのご厚意で道路側に柵を設けて頂きました。

・昨年 9 月に日暮家より借用していたトラクターが故障しました。修理を行っても、再度故障する

可能性が高いため、臨時理事会での決議及び会員過半数の賛同を経て、クボタ製トラクター(3,975,000 円)の購入を行いました。

・市農政課との緊密な連絡、交流をおこないました。

**◆総括報告**

・年度末（2024 年 3 月末）の正会員数は 194 名（前年度 210 名)、賛助会員 4 名、顧問 1 名、協力会員（地権者）14 名、協力会員（我孫子市民）72 名、あわせて 285 名（前年度 301 名）の会員となりました。メルマガ会員は 200 名（前年度 200 名）で変動はありません。

## 2. 事業の実施に関する事項

| 事業名 | | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従業者の人数 | 受益対象者の範囲<br>及び人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 里山保全部門 | 管理場所グループ | 根戸城址部会（定例活動）<br>・根戸城址通り清掃<br>・樹林地管理など | 毎月第1、3日曜日 | 根戸城址通り<br>根戸城址 | 4名 | 会員（30名） |
| | | 花ハス部会 | 定例活動日、随時 | ハス田 | 2名 | 会員（20名） |
| | | ミカン山部会 | 定例活動日、随時 | ミカン山 | 2名 | 会員（20名） |
| | | 冬水田圃部会 | 4月～10月 | 根戸新田 | 14名 | 会員・一般（100名） |
| | | ソバ栽培部会 | 8月～11月 | 根戸新田 | 14名 | 会員（60名） |
| | 個別活動グループ | 養蜂部会 | 毎月第3土曜日、随時 | 根戸新田 | 2名 | 会員（37名） |
| | | 竹教室 | 毎月第4木曜日 | 根戸新田 | 2名 | 会員（4名） |
| | | 里山農教室部会 | 毎月３回程度　土曜日 | 根戸新田 | 19名 | 会員（149名） |
| | | 特別コース部会 | 通年 | 根戸新田 | 2名 | 会員（13名） |
| | | 子ども部会 | 毎月３回程度　土曜日 | 根戸新田 | 2名 | 会員（34名） |
| | | ソバ勉強会部会 | 9月～11月 | けやき調理室 | 2名 | 会員（27名） |
| | | ハーブ部会 | 通年 | 根戸新田 | 2名 | 会員（21名） |
| | | 小麦部会 | 通年 | 根戸新田 | 3名 | 会員（21名） |
| | | 健康長寿部会 | 通年 | 根戸新田 | 2名 | 会員（11名） |
| 遊休農地活用部門 | 遊休農地対応グループ | ひまわり栽培 | 4月～7月 | 船戸圃場<br>花和下圃場<br>浅野圃場 | 3名 | 会員(60名)<br>一般（618名） |
| | | 菜の花栽培 | 10月～3月 | 船戸圃場<br>花和下圃場<br>浅野圃場 | 3名 | 会員(60名)<br>一般（663名） |
| | | 水稲栽培 | 3月～9月 | 宮前田圃<br>宮前沼田圃 | 2名 | 会員(60名) |
| | 新規就農者支援グループ | 新規就農者支援 | 4月～3月 | 根戸新田 | 2名 | 会員・一般（0名） |
| 事務局部門 | 交流グループ | 田植え | 5月15日 | 根戸新田 | 14名 | 会員（128名） |
| | | かかし作り | 7月9日、23日 | 日暮会場 | 10名 | 会員（149名）・一般（21名） |
| | | かかし祭り（コンテスト） | 8月20日 | 根戸新田 | 15名 | 会員（121名）・一般（27名） |
| | | 稲刈り | 9月10日 | 根戸新田 | 30名 | 会員（149名）・一般（93名） |
| | | トラストサロン | 2月25日 | けやきプラザ | 5名 | 会員（28名） |
| | 事務局グループ | 安全管理委員会 | 4月24日 | けやきプラザ | 2名 | 理事（10名） |
| | | 定例理事会（10回開催） | 毎月、最終日曜日 | けやきプラザ | 2名 | 理事（10名） |
| | | 通常総会 | 6月4日 | けやきプラザ | 10名 | 会員（174名） |
| | | 会報編集・校正・発送 | 毎月1日発行 | 会員自宅ほか | 3名 | 会員・一般（200名） |
| | | ホームページ運用・管理 | 通年 | 会員自宅ほか | 3名 | 会員・不特定多数 |
| | | フェイスブック運用・管理 | 通年 | 会員自宅ほか | 2名 | 会員・不特定多数 |